日本社会福祉系学会連合

2019 年度総会報告および公開研究会のお知らせ

日本社会福祉系学会連合 事務局長 和気 純子

2019 年 5 月 26 日 17 時 10 分~17 時 40 分、東洋大学白山キャンパス 1 号館 3 階 1303 教室にて、日本社会福祉系学会連合 2019 年度総会が開催されました。本稿では、その概要を記すとともに、2019 年度に予定している公開研究会についてお知らせいたします。

<総会報告>

- I 会長挨拶
- Ⅲ 出席学会及び出席者の確認22 の加盟学会のうち 15 学会の代表者が出席した。

Ⅲ 審議事項

第1号議案 運営委員の交代について

会計担当の渡辺裕一氏 (日本地域福祉学会) に代わり、北本佳子氏 (日本地域福祉学会) が 2019 年度より運営委員 (会計担当) に就任する提案がなされ、承認された。

第2号議案 2018年度事業報告について

2018 年度事業報告について、ホームページの定期的な更新および年 2 回の日本社会福祉系学会連合ニュース刊行による広報活動、公開研究会の開催、災害福祉アーカイブ事業の実施、補助金制度の運用、運営委員会および総会の開催について説明、承認された。

第3号議案 2018年度決算および監査報告について

2018年度決算報告がなされ、概ね予算通りに執行されたとの報告があった。続いて2018年度の事業が適正に処理されたとの監査報告がなされ、議案が承認された。

第4号議案 2019年度事業計画について

2019 年度運営委員会および総会の開催、加盟学会および会員等の活動に関する情報交換、補助金制度の運用、公開研究会の開催、日本学術会議の活動に対する支援と協力、ならびに事務局の事務委託について、配布資料に基づき説明があった。

2019 年度の日本社会福祉系学会連合の公開研究会のテーマは「多様性時代における研究支援と学会のあり方」とし、日本社会福祉学会秋季大会期間中に同大会会場である大分大学にて開催の予定である。本公開研究会に先立ち、近日中に加盟学会に向けたアンケートを実施する予定であるという報告がなされ、承認された。

第5号議案 2019年度予算について

2018年度予算を概ね踏襲した 2019年度予算案が説明、了承された。なお、2019年度補助金制度への応募は4月末日で締め切ったが、今回は応募がなかったため、2018年度と同様に8月末を締切として二次募集を行うことが承認された。

 $\circ)$

IV 報告事項

1. 加盟学会の2018度の活動予定のホームページ掲載

加盟学会の年次大会等の活動予定を本学会ホームページに掲載している。更新すべき情報があれば随時学会連合事務局に連絡し、更新を依頼するよう案内があった。

2. 災害福祉アーカイブについて

本連合のホームページに蓄積されている「災害福祉アーカイブ」の紹介があった。**2019** 年度 も継続して情報収集を行うため、各学会での案内や活用に向けて周知を行った。

3. 補助金制度の運用について

2018年度は一次募集(2018年4月末日締切)と二次募集(2018年8月末日締切)の2期に 亘って募集を実施したところ、3件の応募、支給がなされた。

4. 2018 年度後援依頼について

2018年度中に承諾した後援依頼4件について報告された。

V その他

要望として、本連合が加盟学会間の連携にむけてさらに積極的に活動をすることを期待する旨の 意見が出された。

<公開研究会のお知らせ>

テーマ:多様性時代における研究支援と学会のあり方

日 時:2019年9月22日(日)12:00~13:00

会 場:大分大学旦野原キャンパス 教育棟 200 教室

趣 旨:少子高齢化人口減少社会にあって、学会においては、女性、若手、シニア、障がい者、被災者、生活困窮者、研究職以外の常勤者など多様な会員の研究を支援するニーズが高まっています。本公開研究会では、障害学会における合理的配慮の取り組みについて伺うとともに、加盟学会への調査から多様な会員への研究支援の実態や課題を明らかにし、日本社会福祉系学会連合運営委員会および各学会として取り組みうる支援や期待について議論いたします。日本社会福祉学会の秋季大会中のお昼の時間を活用して開催いたしますので、昼食持参のうえご参加ください。参加者の皆様からのインプットを期待しています。

講 師:「多様性時代の研究支援における合理的配慮~障害学会の事例から~」 中根成寿氏(京都府立大学准教授 障害学会理事・元事務局長)

調査報告:社会福祉系学会における多様性時代の研究支援の現状
